



よしだ ひろし
吉田 裕俊 脊椎脊髄センター長

プロフィール

1985年山形大学医学部卒業、東京医科歯科大学整形外科入局。脊椎専門医として、済生会川口総合病院など同大学の関連病院勤務を経て、2023年4月、川島整形外科病院へ。日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会、日本脊椎インストゥルメンテーション学会評議員。「オーダーメイド医療」「明日死ぬと生きて生きる。一生生きてと思って学べ」がモットー。静岡県生まれ。名門藤枝東高校サッカー部出身。

Column

椎間板ヘルニアの治療は、手術で切除する従来の治療法に代わって、椎間板内に薬剤を直接注射する腰椎椎間板内酵素注入療法が主流になりつつあります。手術よりも身体的負担が小さく、局所麻酔で済み、入院期間が短いのがメリット。『川島整形外科病院』でも、脊椎専門医の吉田裕俊先生によって行われています。

卓越したチームで 専門性の高い医療を実現

昭和56年開院、県北や豊前を中心に、専門性の高い医療を提供し続ける『川島整形外科病院』。

同院では膝・股・肩・手・リウマチなど、あらゆる整形外科の専門医が在籍する中、九州では数少ない脊椎専門医を務めるのが吉田裕俊先生。10年前より、福岡の病院から同院の脊椎専門外来に訪れていたことがきっかけとなり、この4月に着任。「自分にしか治せない分野で、本当に困っている人を助けたい」と、脊椎専門医を志し、脊椎ひとすじ34年、国内の病院やドイツ留学などで研さんを積んできました。「患者さまは教科

書」と言い、患者の訴えを基本とした丁寧な診察を心掛けています。

数々の医療現場に立ち会ってきた吉田先生が、同院に対して驚いたと言っているのは、個人病院でのチーム医療のレベルの高さ。脊椎は神経を扱う領域のため、特に徹底したチーム医療が求められる部位。また、初期治療からリハビリまで一貫して経過を見届けられること、老健施設や訪問看護、介護サービスなどの連携によって、集約的な医療が行えることにやりがいを感じていると言います。

今後は脊椎専門医をもう1名増やし、専門医2名体制で行う難易度の高い手術を同院で実現すべく、後進の育成にも意欲を燃やしています。



開院時、15名からスタートした『川島整形外科病院』。現在、病床数143床、外部職員を含めて500名が働く。植樹活動、健康教室、音楽会などを通して、地域とのつながりを大切にしている。

DATA

社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院・かわしまクリニック

tel.0979-24-9855

<http://kawashimahp.jp>

【診療科目】整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科
【対応診療】運動器疾患(骨・関節・靭帯など)、人工関節、手外科、肩関節疾患、膝や上肢などのスポーツ障害、関節リウマチ、骨・関節感染症、減圧症など

- 住所/ 中津市宮夫11-1
- 駐車場/ 216台(共有)
- アクセス/ JR中津駅より車で7分

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-
午後 14:00~18:00	●	●	●	●	●	-	-

※土曜の診療時間は12:00まで

※急患は川島整形外科病院にて24時間対応※川島整形外科病院(脳神経外科を含む)での診察に関しては、電話で問い合わせを(tel.0979-24-0464)

